

JILPT 資料シリーズ

No.246 2021年12月

過重負荷による労災認定事案の研究 その3

過重負荷による労災認定事案の研究 その3

まえがき

業務の過重負荷による過労死・過労自殺など脳・心臓疾患や精神障害の業務上災害（以下、「過労死・過労自殺等(の)業務上災害」という。）が政策的に対処すべき大きな社会問題と認識され、平成 26 年に過労死等防止対策推進法が制定された。また、業務の過重負荷は労働者の心身の健康に影響を及ぼし、その理由は主に長時間労働によるとの認識の下、働き方改革関連法により、平成 31 年 4 月から時間外労働の上限時間数が法定化されるなど、過重労働防止対策、あるいは過労死・過労自殺予防に資する政策が推進されている。

一方、調査研究、特に社会科学研究に目を転じると、過労死・過労自殺等の業務上災害が職場においてなぜ発生するのか、被災者の業務遂行過程においてどのようにして発生するのかは、依然詳らかにされていないように思われる。したがって、職場における法制度の運用、企業や管理監督者による職場管理など、過重労働あるいは過労死・過労自殺等業務上災害発生背景要因を探り、過重労働や過労死・過労自殺等業務上災害の発生機序、あるいはそれらのメカニズムを適切に把握することが、今の社会科学研究にとって重要であると考えられる。また同時に、このような調査研究の成果は、過重労働防止、過労死・過労自殺等業務上災害予防の政策にとって必要であろう。

本資料シリーズの調査研究は、上記観点を踏まえて行われたものである。本書が、諸政策や企業実務の在り方を検討していく上で活用されるならば幸いである。

2021 年 12 月

独立行政法人 労働政策研究・研修機構

理事長 樋口 美雄

執筆者（初出順）

氏名	所属	担当	
いけぞえ ひろくに 池添 弘邦	労働政策研究・研修機構	副統括研究員	調査研究の概要、第1章
ふじもと たかし 藤本 隆史	労働政策研究・研修機構	リサーチアソシエイト	第1章
たかみ ともひろ 高見 具広	労働政策研究・研修機構	副主任研究員	第2章

※執筆担当章が重複する場合は共著である。

※第2章掲載の図表作成においては、石井華絵氏（当機構アシスタントフェロー）の協力を得た。

プロジェクト研究「働き方改革の中の労働者と企業の行動戦略に関する研究」

サブテーマ「労働時間に関する調査研究」

メンバー（五十音順）

池添 弘邦	労働政策研究・研修機構	副統括研究員
石井 華絵	労働政策研究・研修機構	アシスタントフェロー
小倉 一哉	早稲田大学商学大学院	教授
高見 具広	労働政策研究・研修機構	副主任研究員
藤本 隆史	労働政策研究・研修機構	リサーチアソシエイト

も く じ

まえがき

執筆者／プロジェクト研究サブテーマ・メンバー

調査研究の概要	1
第1章 職場管理の観点から見た労災認定事案の検討	4
付属表	19
検討事案の概要1（脳・心臓疾患）	36
検討事案の概要2（精神障害）	46
第2章 精神障害の労災認定事案における「極度の長時間労働」事案の検討	51
付属表	66